



原田翔平さん(23)
志保さん(21)

＝前沢区字合ノ沢＝

雨の日も晴れの日も

●どんなときも一緒に素敵な夫婦を紹介

昨年10月に結婚したばかりの原田夫妻。4月15日に生まれる予定の赤ちゃんを待ちわびています。
翔平さんは自動車整備の仕事をする傍ら、平成26年奥州前沢25歳厄年連「紅楓華」の山車部長を務めます。前沢春まつりの本番が近づき、山車制作は佳境に。作業は深夜遅くまで及びこともあり、志保さんは「予定日が近く不安になることもある」と心境を語

ります。翔平さんは、祭り成功のため「みんなで協力しなければ」と熱心に山車制作に励みながらも、志保さんの不安を少しでも和らげるために、山車の写真をこまめにメールで送って元気づけています。
現在、志保さんは出産に備え実家にいるものの、週末は翔平さんの家で家族全員分の食事を作ります。赤ちゃんが生まれればなんと5世代となる原田家で「作る料理には気を遣います」と、筑前煮など和食の腕を磨いています。
「忙しい旦那をサポートしながら、子育ても頑張りたい」と、すでに母親の顔を見せる志保さん。翔平さんも「厄年が落ち着いたら子育てをがんばる。元気な子どもを産んで」と優しい笑顔を妻に向けています。
お祭りが盛んな地元を愛し、自ら盛り上げようとする2人。前沢春まつりは、「紅楓華」に要注目です。



菊池 和真 くん
(江刺区・玉里小学校6年)

Interview

夢トーク 43 将来の夢は「鉄道運転士」

—学校は楽しいですか？
僕は昨年12月、玉里小学校に転校して来ました。転校前に住んでいた東京では雪がほとんど積もらないので、この冬はたくさん雪合戦ができて楽しかったです。
—奥州市に来て、初めて挑戦したことはありますか？
祖父に連れられ、鹿踊りの体験をしました。すごく楽しかったです！これからも続けたいな。
—好きな教科は？
国語です。5年生の授業で、水沢江刺駅から新幹線で旅する兄妹

の物語を書きました。自分と妹をイメージして、うまく書けました。
—将来の夢を教えてください。
鉄道運転士です。電車に乗るのも、見るのも大好き。自分で運転できたら、どれだけ楽しいだろうと思います。
—夢を叶えるために、がんばっていることはなんですか？
電車は、停車位置にぴったり停めないとお客さんに迷惑が掛かってしまいます。正確に停車するため、速度と距離を瞬時に計算できるように算数をがんばっています。



中高生の部活動や
委員会活動を紹介

青春讃歌

前沢中学校
サッカー部

- ◎部員数 28人
- ◎顧問 熊谷文利先生
- ◎部長 菅原誠人君
- ◎主将 鈴木健司君

歴史を変える勝利を

ようやく、吹く風に暖かさを感じられるようになったグラウンド。冬場は雪が積もり、使用できなかったフィールドで、目いっぱい走り回る水色のユニフォーム——前沢中学校サッカー部です。

平成25年の新人戦は予選リーグで惜しくも敗退。中総体での勝利は冬場の練習に託されました。「新人戦はパスが繋がらなかった」と敗因を語る部長の菅原君。冬期間に体育館で行ったフットサルの練習では、ディフェンス1人に対しオフェンス2人でボールをつないでかわす「ワンツー」に力を入れてきました。体育館はグラウンドに比べて狭いため、より早い判断が求められます。ワンツーの練習を通して判断力が鍛えられた生徒たちを、顧問の熊谷先生は「組み立てが分かるようになり、パスもうまくつながるようになってきた」と評価します。

同部は約20年、県大会へ出場していません。「僕たちが前沢中サッカー部の歴史を変える——」主将の鈴木君は、6月の中総体での県大会出場を誓います。「“前沢中は弱い”とずっと思われてきたけれど、ことしは違う。皆さん、期待してください」と菅原部長も力強く言葉を添えました。中総体まで残り2カ月、同部はパス技術にさらに磨きをかけます。



冬場の練習が春に生きる



春の日差しが心地よい毎日ですが、皆さんいかがお過ごしですか。

さて、このたび、市民の皆さんのご支持をいただき、引き続き奥州市長の重責を担うことになりました。皆さんのご支持に心から感謝しますとともに、改めて責任の重さを痛感しております。

また、市長選挙と同時に市議会議員選挙が執行されました。改選後、議長には佐藤修孝議員が、副議長には小野寺重議員が就任され議会の構成も新たになりました。正副議長のご指導の下、議員皆さまとの協議を大切にしながら、市勢運営を円滑に行うことができるように、誠意を持って努めてまいります。奥州市の発展に向けて議会と協働して取り組んでまいります。さて、年度を締めくくる3

月と新しい年度を迎える4月は、別れと出会いの季節でもあります。3月31日には、後藤副市長が退任なされ、45名の方々が退職されました。皆さまの市勢発展に向けたご貢献に心から感謝申し上げます。今後におかれましては、健康に十分ご留意され、奥州市の発展と地域の活性化に向け、これまで培われた能力を大いに発揮していただくことを心から願っております。また、4月1日は16名の新しい職員を迎えました。それぞれ配属された職場において一日も早く仕事を覚え、市民の皆さんにご評価いただけるよう活躍を大いに期待しております。

春の祭りの先陣を切って、羽田町火防祭が開催されました。あいにくの天気ではありましたが、阿波おどりチームの参加で、活気にあふれた祭りになりました。今後、前沢春まつり、日高火防祭、江刺甚句まつりと、奥州の春を彩るお祭りが続きます。いずれもにぎやかに開催され、市の活性化にもつながることを大いに期待しています。

奥州市長 小沢昌記